Vivid Sydney がシドニーハーバーを光と音楽とアイデアのキャンバスに変える

2012 年 5 月 26 日シドニー　/PR ニュースワイヤ・アジア/--

Vivid Sydney（5 月 25 日～6 月 11 日）が今夜、シドニーのシンボルであるオペラハウスの『Lighting the Sails』とともに正式スタートし、数々の賞を受けてきたドイツのデザインチーム URBANSCREEN による 3D カラーイメージの投影とデジタルアートのパフォーマンスが公開されます。

今回の記者発表に関連したマルチメディアコンテンツを閲覧する場合は次の URL をクリックしてください。
http://www.multivu.com/players/English/55928-vivid-sydney-festival-2012/

この手の祭典としては南半球最大規模となる Vivid Sydney ではハーバーの水辺付近で行われる光のアートやシドニー・オペラハウスでの音楽ライブの他、「Vivid Ideas」のプログラムではクリエイティブ業界関連のイベントが 100 以上行われます。

ニューサウスウェールズ州政府の新観光イベントプログラムの一環としてデスティネーション NSW が企画する Vivid Sydney は、オーストラリアの中のグローバルシティーとして、そしてアジア太平洋地域のクリエイティブ業界のハブとしてのシドニーの地位を強化するイベントです。2012 年のこの祭典では、50 万人以上の動員を見込んでいます。

今年の Vivid Light には 60 以上の光の芸術彫刻が展示される予定となっており、これは 2011 年の実績を 20 上回ります。インタラクティブゲームやソーシャルメディアを利用したモバイルアートの作品、摩天楼のライトアップ、3D プロジェクションマッピング、ドイツ、フランス、ポーランド、香港、スコットランド、米国、ブラジル、シンガポール、ニュージーランドからの国際展示など様々な展示を見ることができます。

シドニー現代美術館（MCA）では、世界初の試みとなるミュージシャンのウィル・アイ・アム（ブラック・アイド・ピーズのメンバー）とシドニーが生んだ有名な芸術家ジャスティーン・ウィリアムズとのインタラクティブ・コラボレーションが披露され、参加する人々は「建造物の演奏」を楽しむことになります。

Vivid Sydney では、アボリジナル暦の 6 つの季節を視覚的なイメージで表現した光の投影も行い、シドニーの先住民を尊重する意志も示します。

Vivid LIVE では英国のフローレンスとザ・マシーンを皮切りに、2 つのワールドプレミアを含む 25 以上のライブ音楽イベントが行われます。ハイライトとして『STOP THE VERGINS』に出演するヤー・ヤー・ヤーズのカレン O、ザ・テンパー・トラップ、スフィアン・スティーヴンス、ジャネル・モネイ＆ザ・アークアンドロイド・オーケストラ、イモージェン・ヒープの他、多数のアーティストが参加します。

また各地で活躍するアイデアイノベーターたちがシドニーに集結し、Vivid Ideas においてクリエイティブ業界の公開イベントを 100 以上行う予定です。イベント数は 2011 年度の倍となります。ハイライトは世界的な有名なブログ『Boing Boing』の著者で共同創立者であるコリイ・ドクトロウの基調講演で、他にエッツィの CEO チャド・ディッカーソン、イギリスのファッションデザイナーでハウス・オブ・ホランドを経営するヘンリー・ホランド、スレッドレスの創業者ジェイク・ニケル、そして雑誌『VICE』の創立者で CEO のシェーン・スミスの登場も注目です。

Vivid Sydney のプログラムはこちらから入手できます。http://vividsydney.com/

スチル写真や動画、タイムラプス動画はこちらの URL からご覧になれます。
http://www.multivu.com/players/English/55928-vivid-sydney-festival-2012/

こちらは定期的に更新され、最終放映となる高画質動画（PAL/NTSC）も同じくこの URL で、シドニー時間の午前 0 時（5 月 25 日）より閲覧できます。

出所：デスティネーション NSW